

＜令和7年度 第1回（第184回）＞
中小企業景況調査報告書

町村における中小企業の景況

令和7年 4月～6月期実績

令和7年 7月～9月期予測

令和7年5月21日～6月5日調査



調査概要

1. 調査対象

この調査は、本県の町村部に設置されている商工会地区の中から中小企業の景況を調査したものである。

(1) 対象地区 (14商工会)

松川町、桑折町（広域：国見町・川俣町）、保原町、富久山町、浅川町（広域：石川町・玉川村・平田村・古殿町）、船引町（広域：三春町・小野町・滝根町・大越町・都路町・常葉町）、岩瀬（広域：大東・長沼・鏡石町・天栄村）、塙町（広域：棚倉町・矢祭町・鮫川村）、南会津町、きたかた、猪苗代町、川内村、鹿島、内郷

(2) 対象企業数及び業種内訳210企業

製造業47企業、建設業33企業

小売業56企業、サービス業72企業

(3) 回答企業数208企業 (回答率99.0%)

2. 調査対象期間

令和7年4月～6月期を対象とし、調査時点は令和7年6月1日とした。

3. 調査方法

(1) 対象商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2) 調査対象地区の決定は、商工会地区市町村人口規模別実態を勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向調査）の略で、企業経営者を対象に景況を示すいくつかの指標をアンケート調査して、その結果で景況の判断を表わす指標である。算出方法は、本期と前期、本期と前年同期比あるいは本期と来期（見通し）との比較を行い、増加（上昇・好転）企業の割合から減少（低下・悪化）企業の割合を差し引いたものとする。※日銀短観：DIとは、定義がやや異なります。

前回（令和7.3.1）のお天気マーク表

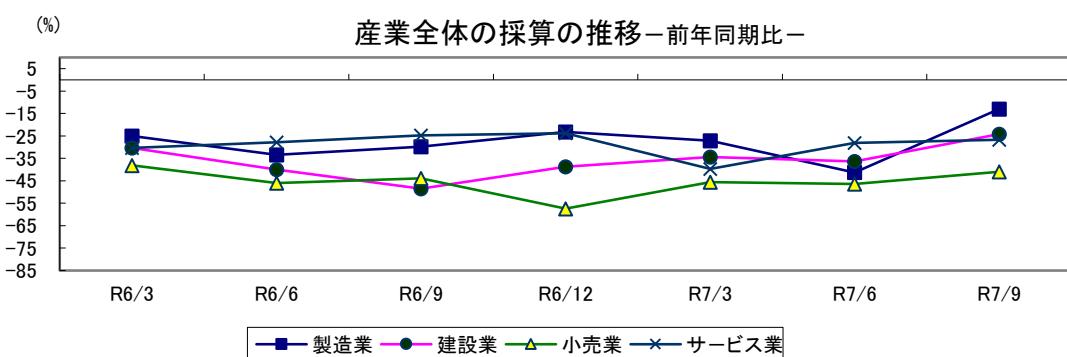
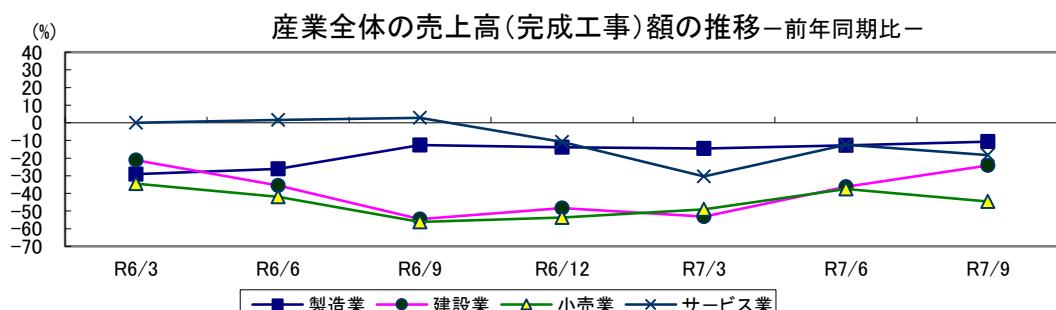
主要指標 業種	売上状況		採算状況	
	実績	見通し	実績	見通し
製造業	△ 14.6 	△ 2.1 	△ 27.1 	△ 16.7
建設業	△ 53.1 	△ 31.3 	△ 34.4 	△ 21.9
小売業	△ 49.1 	△ 36.8 	△ 45.6 	△ 29.8
サービス業	△ 30.4 	△ 23.2 	△ 39.7 	△ 36.7

1. 産業全体の景況概要

県内商工会地区における今期(令和7年4~6月期)の中小企業景況調査の結果によると、前期DI値と比較して売上額(完成工事額)では、製造業(1.8ポイント改善)でほぼ現状維持、建設業(16.8ポイント改善)で好転、小売業(11.6ポイント改善)で好転、サービス業(17.9ポイント改善)で好転となっている。採算においては、製造業(14.2ポイント悪化)で悪化、建設業(2ポイント悪化)でほぼ現状維持、小売業(0.8ポイント悪化)でほぼ現状維持、サービス業(11.6ポイント改善)で好転となっている。

また、今期DI値と比較した来期(令和7年7~9月期)の見通しは売上額(完成工事額)では、製造業(2.1ポイント改善)でほぼ現状維持、建設業(12.1ポイント改善)で好転、小売業(7.1ポイント悪化)でやや悪化、サービス業(5.8ポイント悪化)でやや悪化の見通しとなっている。採算においては、製造業(28.3ポイント改善)で大幅な好転、建設業(12.2ポイント改善)で好転、小売業(5.4ポイント改善)でほぼ現状維持、サービス業(1.4ポイント改善)でほぼ現状維持の見通しとなっている。

お天気マークを見ると、今期の売上額(完成工事額)において、製造業で来期まで小雨、建設業、小売業で来期まで雨、サービス業で今期小雨から来季雨の見通しとなっている。採算性において、製造業で今期雨から来季小雨、建設業、小売業、サービス業で来期まで雨の見通しとなっている。



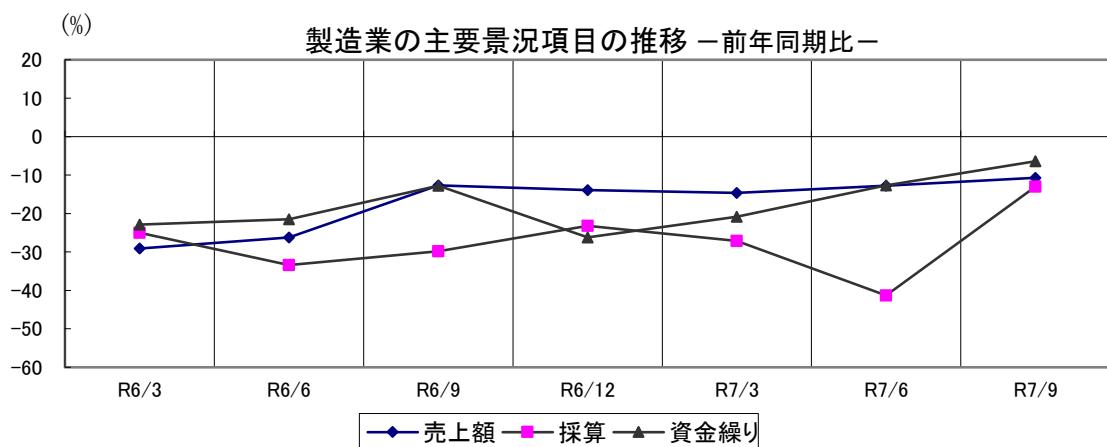
産業全体のお天気マークー前年同期比ー

主要指標 業種	売上状況		採算状況		<お天気マークの説明> <マークは各指標の DI値を示す>
	実績	見通し	実績	見通し	
製造業	△ 12.8 	△ 10.7 	△ 41.3 	△ 13.0 	+15%以上 晴
建設業	△ 36.3 	△ 24.2 	△ 36.4 	△ 24.2 	+5%～+14.9% 薄日
小売業	△ 37.5 	△ 44.6 	△ 46.4 	△ 41.0 	±4.9% 曇
サービス業	△ 12.5 	△ 18.3 	△ 28.1 	△ 26.7 	-5%～-14.9% 小雨
					-15%～-49.9% 雨
					-50%以下 大雨

2. 製造業

今期(令和7年4～6月期)の前年同期比DI値は、売上高でマイナス12.8ポイント(1.8ポイント改善のほぼ横ばい)、採算でマイナス41.3ポイント(14.2ポイント悪化の下向き)、資金繰りでマイナス12.7ポイント(8.1ポイント改善のやや上向き)と、売上高でほぼ現状維持、採算で悪化、資金繰りでやや好転となっている。※()内は前期DI値との比較

来期(令和7年7～9月期)見通しの前年同期比DI値は売上高でマイナス10.7ポイント(2.1ポイント改善のほぼ横ばい)、採算でマイナス13.0ポイント(28.3ポイント改善の大幅な上向き)、資金繰りでマイナス6.4ポイント(6.3ポイント改善のやや上向き)の見通しと、売上高でほぼ現状維持、採算で大幅な好転、資金繰りでやや好転の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



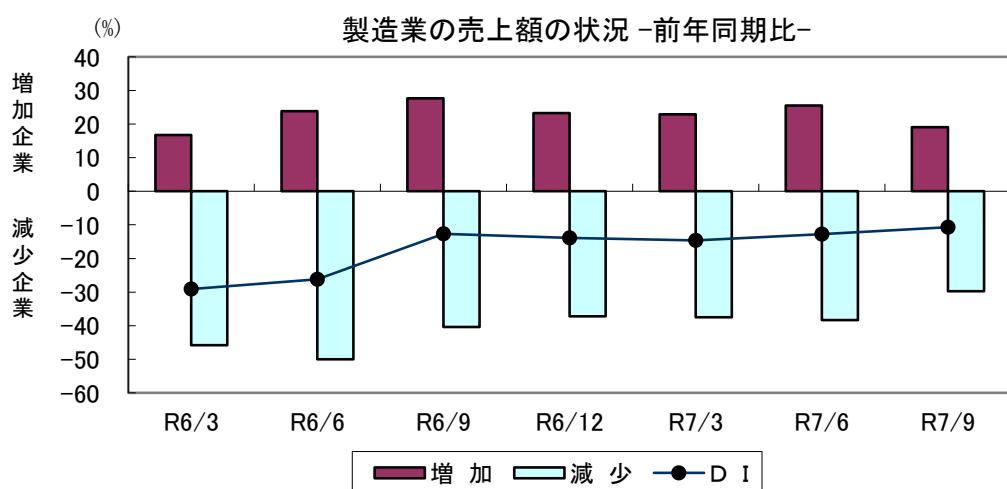
◎ 売上（加工）額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から2.6ポイント増加し、25.5%となつた。一方「減少」と回答した企業は前期から0.8ポイント増加し、38.3%となつた。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から1.8ポイント改善し、マイナス12.8ポイントとほぼ横ばい傾向となつてゐる。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して2.1ポイント改善し、マイナス10.7ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「増加」と回答した企業が6.4ポイント減少、「減少」と回答した企業が8.5ポイント減少であることからことからも、ほぼ現状維持となつてゐる。

◎ 製造業の売上（加工）額（前年同期比）

年 / 月	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	前 期		見通し
					R7/3	R7/6	
増 加	16.7	23.8	27.7	23.3	22.9	25.5	19.1
減 少	45.8	50.0	40.4	37.2	37.5	38.3	29.8
D I	△ 29.1	△ 26.2	△ 12.7	△ 13.9	△ 14.6	△ 12.8	△ 10.7



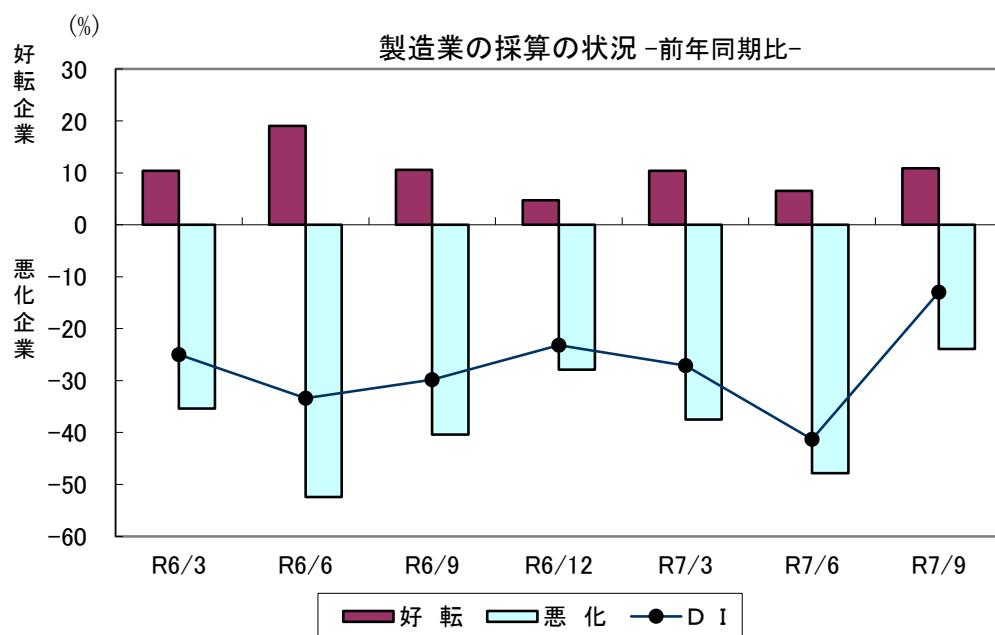
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から3.9ポイント減少し、6.5%となつた。一方「悪化」と回答した企業は前期から10.3ポイント増加し、47.8%となつた。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から14.2ポイント悪化し、マイナス41.3ポイントと下向き傾向となつてゐる。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して28.3ポイント改善し、マイナス13.0ポイントと大幅な上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が4.4ポイント増加、「悪化」と回答した企業が23.9ポイント減少であることからも、大幅な好転の見通しとなつてゐる。

◎ 製造業の採算（前年同期比）

年 / 月					前 期	今 期	見 通 し
	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	R7/9
好 転	10.4	19.0	10.6	4.7	10.4	6.5	10.9
悪 化	35.4	52.4	40.4	27.9	37.5	47.8	23.9
D I	△ 25.0	△ 33.4	△ 29.8	△ 23.2	△ 27.1	△ 41.3	△ 13.0



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から2.0ポイント減少し、4.3%となつた。一方「悪化」と回答した企業は前期から10.1ポイント減少し、17.0%となつた。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から8.1ポイント改善し、マイナス12.7ポイントとやや上向き傾向となつてゐる。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して6.3ポイント改善し、マイナス6.4ポイントとやや上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.2ポイント減少、「悪化」と回答した企業が8.5ポイント減少であることからも、やや好転の見通しとなつてゐる。

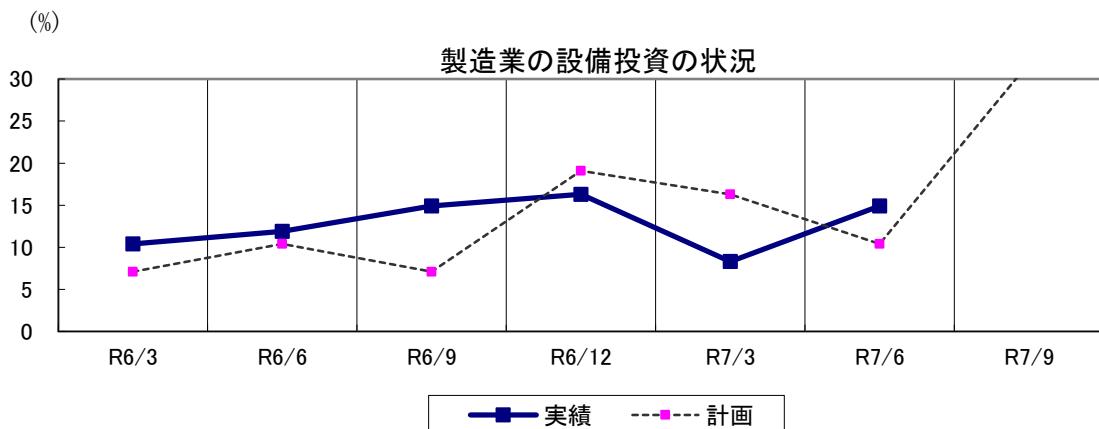
◎製造業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前 期	今 期	見 通 し
	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	R7/9
好 転	6.3	9.5	10.6	2.4	6.3	4.3	2.1
悪 化	29.2	31.0	23.4	28.6	27.1	17.0	8.5
D I	△ 22.9	△ 21.5	△ 12.8	△ 26.2	△ 20.8	△ 12.7	△ 6.4

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から6.6ポイント増加し14.9%となっている。投資内容では「生産設備」が28.6%、「OA機器」が28.6%、「工場建物」が14.3%、「車両・運搬具」が14.3%、「付帯施設」が14.3%、「その他」が14.3%で、他は0%となっている。

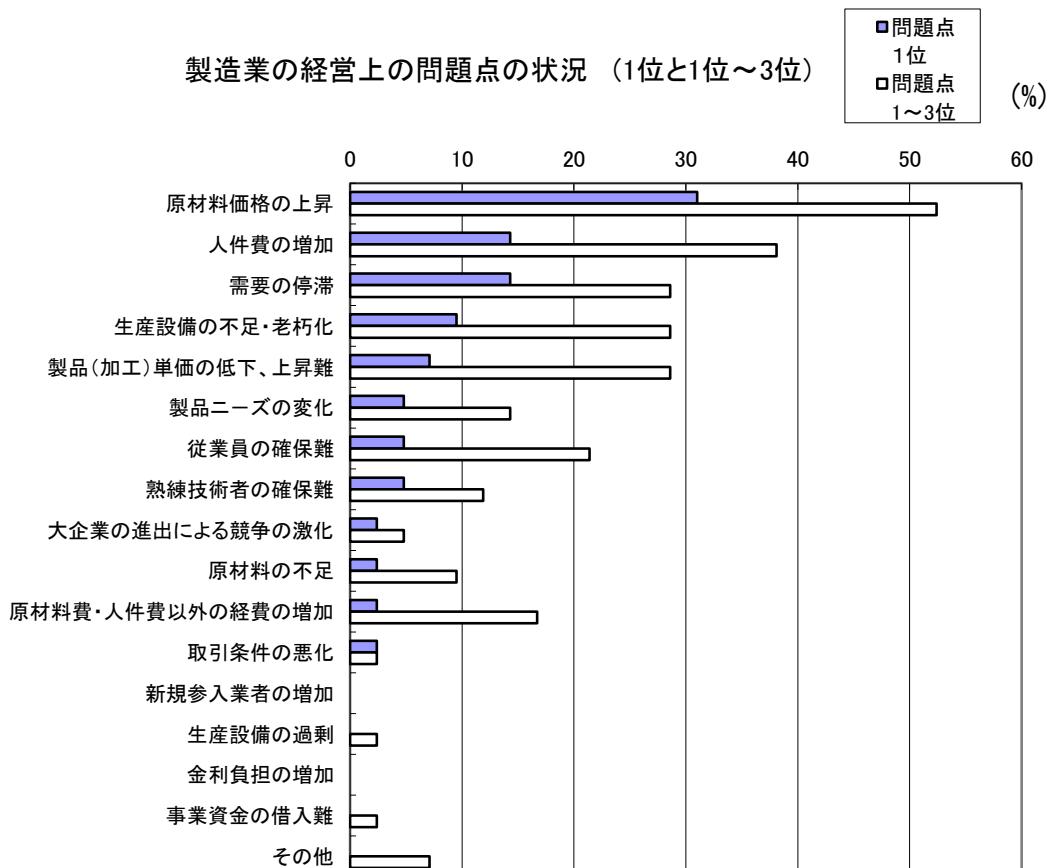
来期に設備投資を計画している企業は31.9%であり、今期計画から21.5ポイント増加、今期実績からは17.0ポイント増加している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「原材料価格の上昇」が31.0%、「需要の停滞」、「人件費の増加」が14.3%、他は10%未満となっている。

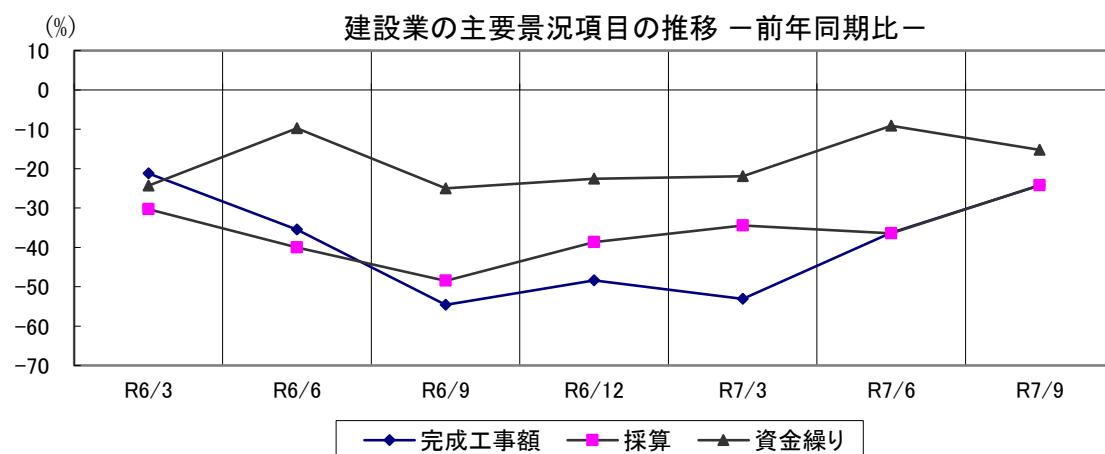
第1位～3位までの合計の問題点は、「原材料価格の上昇」(複数回答以下同じ)が52.4%、「人件費の増加」が38.1%、「需要の停滞」、「生産設備の不足・老朽化」、「製品(加工)単価の低下、上昇難」が28.6%、「従業員の確保難」が21.4%、「原材料費・人件費以外の経費の増加」が16.7%、「製品ニーズの変化」が14.3%、「熟練技術者の確保難」が11.9%、他は10%未満となっている。



3. 建設業

今期(令和7年4～6月期)の前年同期比DI値は、売上高でマイナス36.3ポイント(16.8ポイント改善の上向き)、採算でマイナス36.4ポイント(2.0ポイント悪化のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス9.1ポイント(12.8ポイント改善の上向き)と、売上で好転、採算でほぼ現状維持、資金繰りで好転となっている。※()内は前期DI値との比較

来期(令和7年7～9月期)見通しの前年同期比DI値は、売上高でマイナス24.2ポイント(12.1ポイント改善の上向き)、採算でマイナス24.2ポイント(12.2ポイント改善の上向き)、資金繰りでマイナス15.2ポイント(6.1ポイント悪化のやや下向き)の見通しと、売上高で好転、採算で好転、資金繰りでやや悪化の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



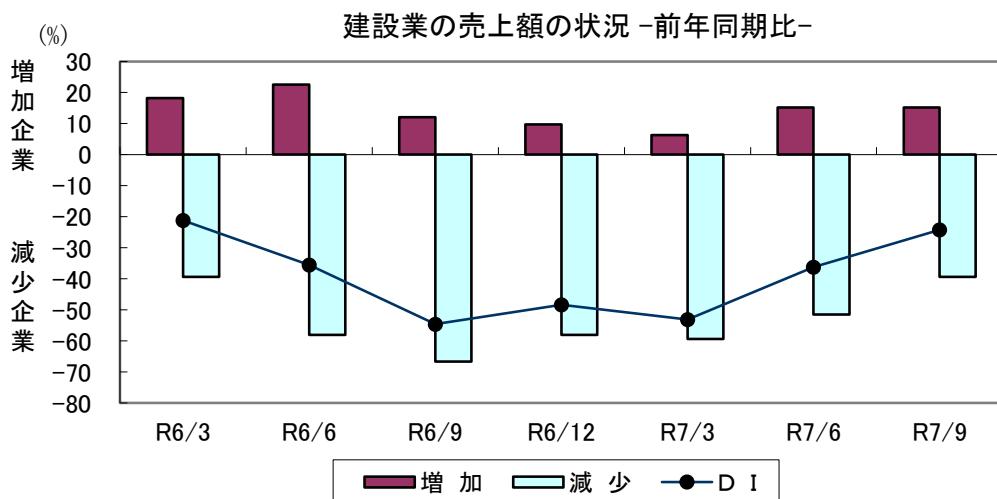
◎完成工事額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から8.9ポイント増加し、15.2%となつた。一方「減少」と回答した企業は前期から7.9ポイント減少し、51.5%となつた。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から16.8ポイント改善し、マイナス36.3ポイントと上向き傾向となつてゐる。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して12.1ポイント改善し、マイナス24.2ポイントと上向き傾向にあり、「増加」と回答した企業が今期と同様の15.2%、「減少」と回答した企業が12.1ポイント減少であることからも、好転の見通しとなつてゐる。

◎建設業の完成工事額（前年同期比）

年 / 月	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	前 期		今 期		見通し	
							増 加	減 少	D I	増 加	減 少	D I
増 加	18.2	22.6	12.1	9.7	6.3	15.2	15.2	15.2	△ 21.2	△ 35.5	△ 54.6	△ 48.4
減 少	39.4	58.1	66.7	58.1	59.4	51.5	51.5	39.4	△ 53.1	△ 36.3	△ 24.2	△ 24.2
D I	△ 21.2	△ 35.5	△ 54.6	△ 48.4	△ 53.1	△ 36.3	△ 24.2	△ 24.2	△ 24.2	△ 24.2	△ 24.2	△ 24.2



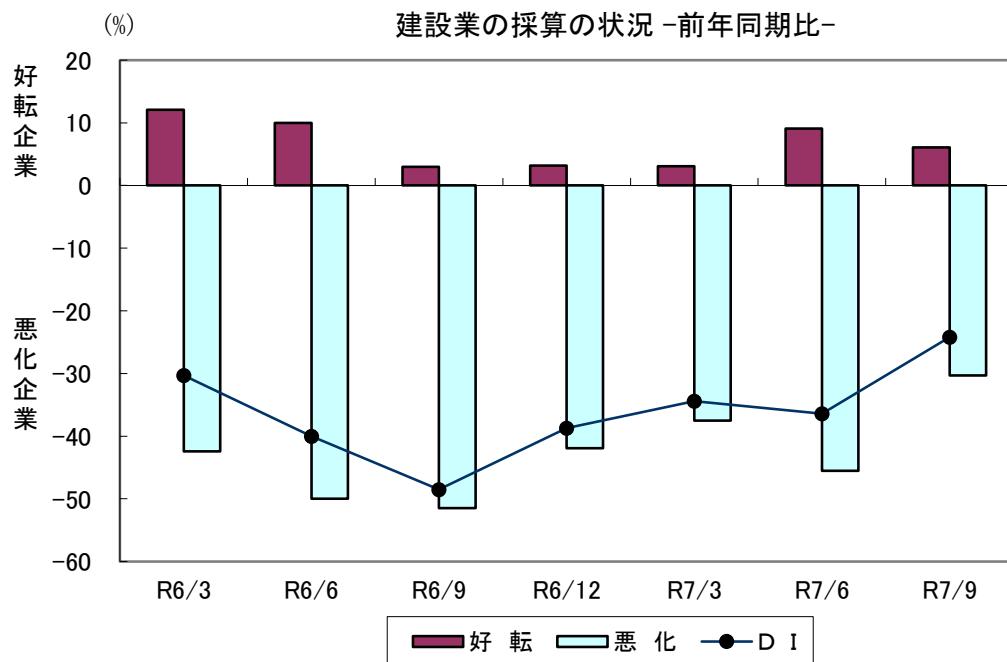
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から6.0ポイント増加し、9.1%となつた。一方「悪化」と回答した企業は前期から8.0ポイント増加し、45.5%となつた。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から2.0ポイント悪化し、マイナス36.4ポイントとほぼ横ばい傾向となつてゐる。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して12.2ポイント改善し、マイナス24.2ポイントと上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が3.0ポイント減少、「悪化」と回答した企業が15.2ポイント減少であることからも、好転の見通しとなつてゐる。

◎建設業の採算（前年同期比）

年 / 月						前 期	今 期	見通し
	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	R7/9	
好 転	12.1	10.0	3.0	3.2	3.1	9.1	6.1	
悪 化	42.4	50.0	51.5	41.9	37.5	45.5	30.3	
D I	△ 30.3	△ 40.0	△ 48.5	△ 38.7	△ 34.4	△ 36.4	△ 24.2	



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から6.1ポイント増加し、6.1%となつた。一方「悪化」と回答した企業は前期から6.7ポイント減少し、15.2%となつた。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から12.8ポイント改善し、マイナス9.1ポイントと上向き傾向となつてゐる。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して6.1ポイント悪化し、マイナス15.2ポイントとやや下向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が6.1ポイント減少、「悪化」と回答した企業が今期と同様の15.2%であることからも、やや悪化の見通しとなつてゐる。

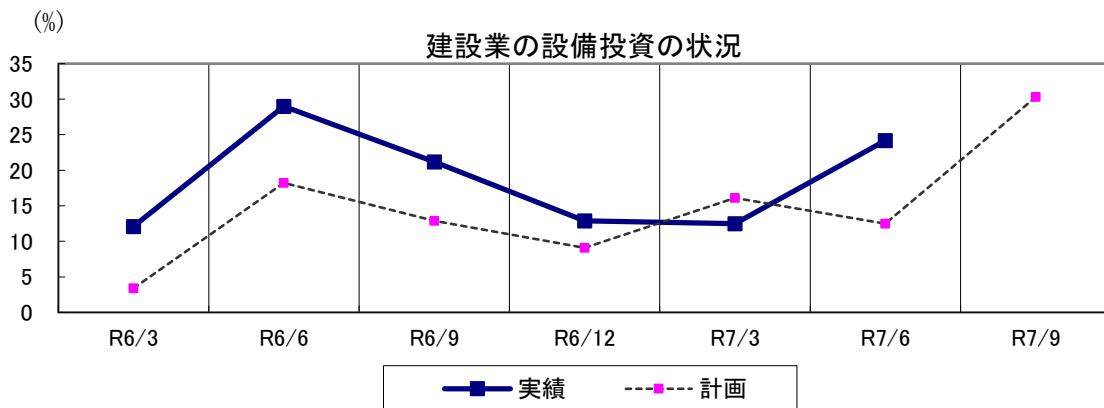
◎建設業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月						前 期	今 期	見通し
	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	R7/9	
好 転	3.0	3.2	3.1	3.2	0.0	6.1	0.0	
悪 化	27.3	12.9	28.1	25.8	21.9	15.2	15.2	
D I	△ 24.3	△ 9.7	△ 25.0	△ 22.6	△ 21.9	△ 9.1	△ 15.2	

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から11.7ポイント増加し24.2%となっている。投資内容では「車両・運搬具」が50.0%、「建物機械」が37.5%、「OA機器」が37.5%、「その他」が12.5%で、他は0%となっている。

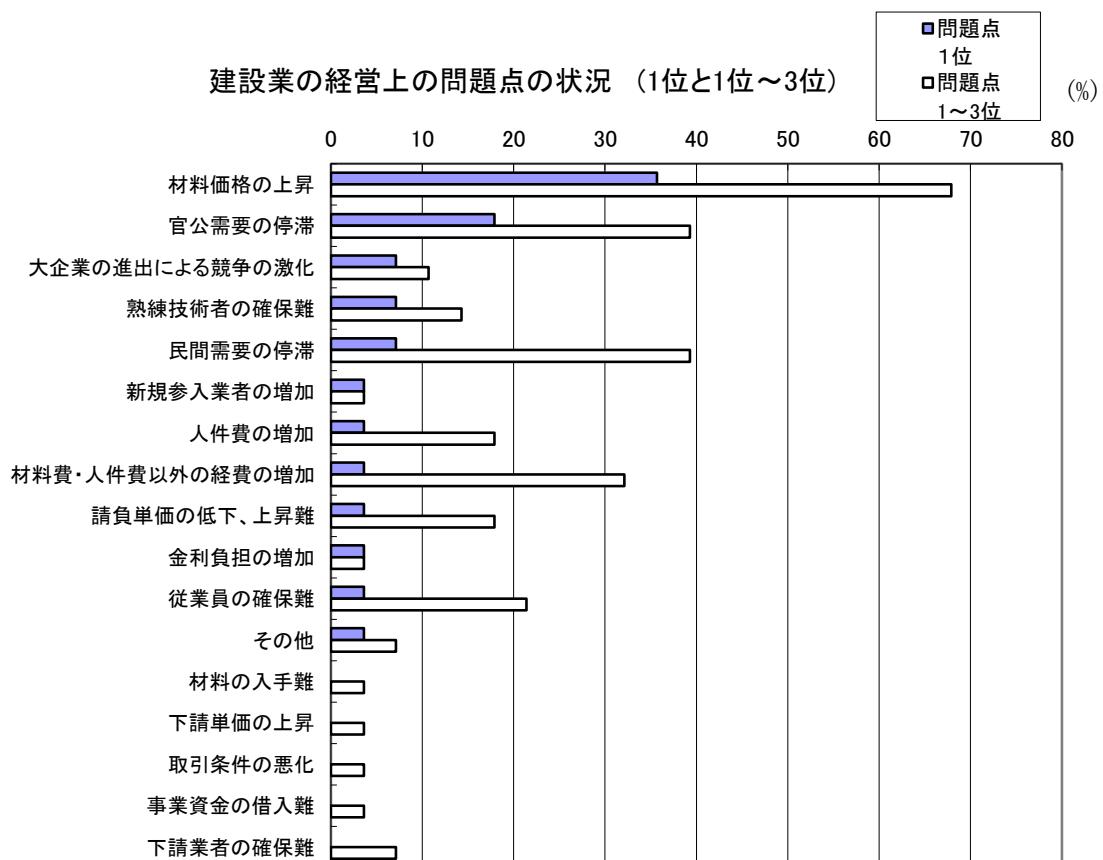
来期に設備投資を計画している企業は30.3%であり、今期計画から17.8ポイント増加、今期実績からは6.1ポイント増加している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「材料価格の上昇」が35.7%、「官公需要の停滞」が17.9%、他は10%未満となっている。

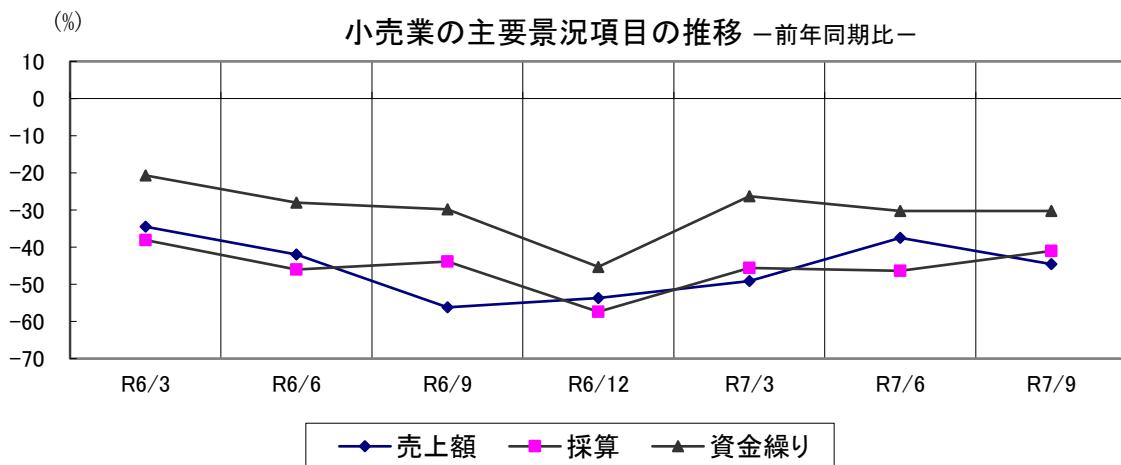
第1位～3位までの合計の問題点は、「材料価格の上昇」(複数回答以下同じ)が67.9%、「官公需要の停滞」、「民間需要の停滞」が39.3%、「材料費・人件費以外の経費の増加」が32.1%、「従業員の確保難」が21.4%、「人件費の増加」、「請負単価の低下、上昇難」が17.9%、「熟練技術者の確保難」が14.3%、「大企業の進出による競争の激化」が10.7%、他は10%未満となっている。



4. 小売業

今期(令和7年4～6月期)の前年同期比DI値は、売上高でマイナス37.5ポイント(11.6ポイント改善の上向き)、採算でマイナス46.4ポイント(0.8ポイント悪化のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス30.3ポイント(4.0ポイント悪化のほぼ横ばい)と、売上高で好転、採算でほぼ現状維持、資金繰りでほぼ現状維持となっている。※()内は前期DI値との比較

来期(令和7年7～9月期)見通しの前年同期比DI値は、売上高でマイナス44.6ポイント(7.1ポイント悪化のやや下向き)、採算でマイナス41.0ポイント(5.4ポイント改善のほぼ横ばい)、資金繰りで前期と同様のマイナス30.3ポイントの見通しと、売上高でやや悪化、採算でほぼ現状維持、資金繰りで現状維持の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



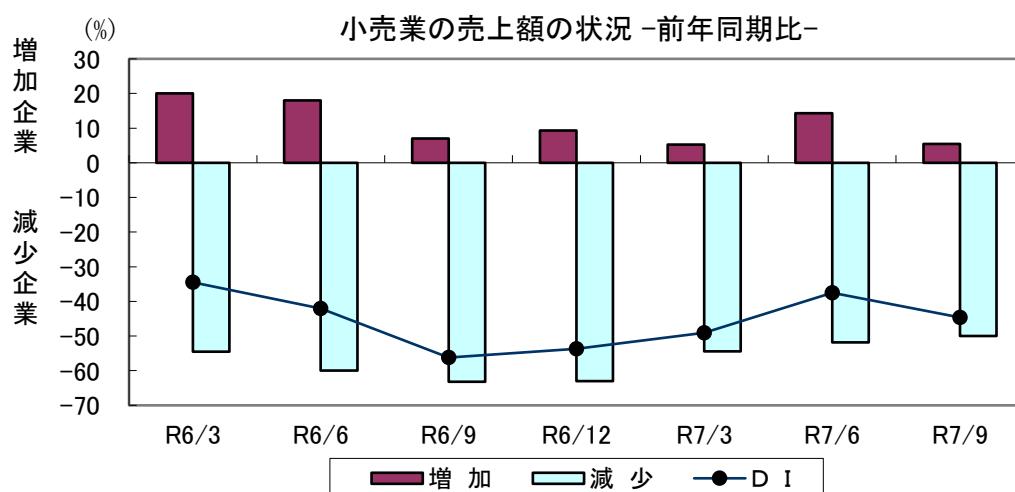
◎売上額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から9.0ポイント増加し、14.3%となつた。一方「減少」と回答した企業は前期から2.6ポイント減少し、51.8%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から11.6ポイント改善し、マイナス37.5ポイントと上向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して7.1ポイント悪化し、マイナス44.6ポイントとやや下向き傾向にあり、「増加」と回答した企業が8.9ポイント減少、「減少」と回答した企業が1.8ポイント減少であることからも、やや悪化となっている。

◎小売業の売上額（前年同期比）

年 / 月	前 期			今 期			見通し
	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	
増 加	20.0	18.0	7.0	9.3	5.3	14.3	5.4
減 少	54.5	60.0	63.2	63.0	54.4	51.8	50.0
D I	△ 34.5	△ 42.0	△ 56.2	△ 53.7	△ 49.1	△ 37.5	△ 44.6



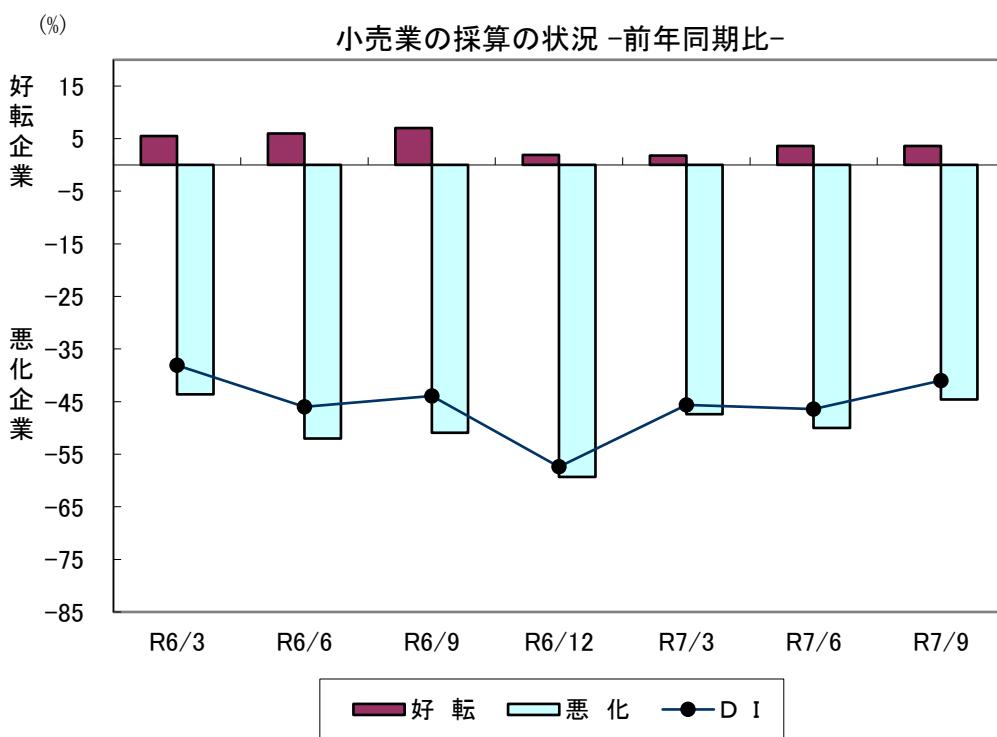
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から1.8ポイント増加し、3.6%となつた。一方「悪化」と回答した企業は前期から2.6ポイント増加し、50.0%となつた。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から0.8ポイント悪化し、マイナス46.4ポイントとほぼ横ばい傾向となつてゐる。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して5.4ポイント改善し、マイナス41.0ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が今期と同様の3.6%、「悪化」と回答した企業が5.4ポイント減少であることからも、ほぼ現状維持の見通しとなつてゐる。

◎小売業の採算（前年同期比）

年 / 月	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	前 期		見通し
					R7/3	R7/6	
好 転	5.5	6.0	7.0	1.9	1.8	3.6	3.6
悪 化	43.6	52.0	50.9	59.3	47.4	50.0	44.6
D I	△ 38.1	△ 46.0	△ 43.9	△ 57.4	△ 45.6	△ 46.4	△ 41.0



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から1.8ポイント増加し1.8%であつた。一方「悪化」と回答した企業は前期から17.2ポイント減少し、28.1%となつた。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から19.0ポイント改善し、マイナス26.3ポイントと上向き傾向となつてゐる。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して1.8ポイント改善し、マイナス24.5ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が今期と同様の1.8%、「悪化」と回答した企業が1.8ポイント減少であることからも、ほぼ現状維持の見通しとなつてゐる。

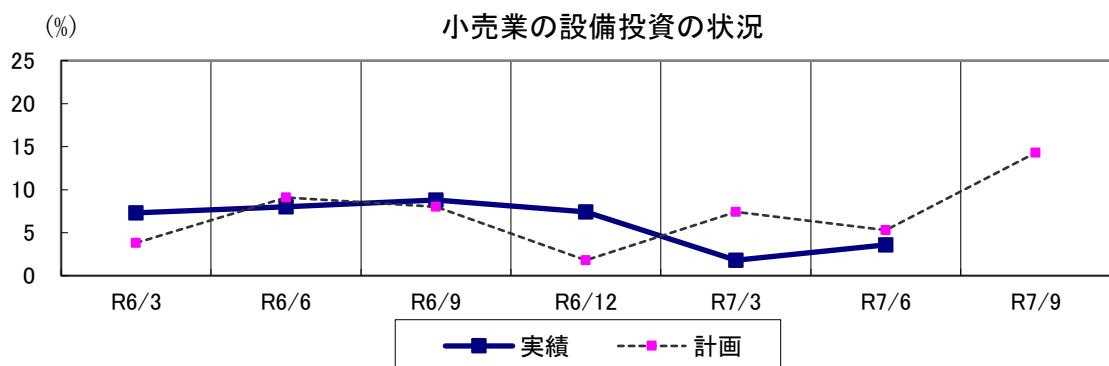
◎小売業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	前 期		見通し
					R7/3	R7/6	
好 転	1.9	4.0	1.8	0.0	1.8	3.6	1.8
悪 化	22.6	32.0	31.6	45.3	28.1	33.9	32.1
D I	△ 20.7	△ 28.0	△ 29.8	△ 45.3	△ 26.3	△ 30.3	△ 30.3

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から1.8ポイント増加し3.6%となっている。投資内容では「車両・運搬具」が100.0%で、他は0%となっている。

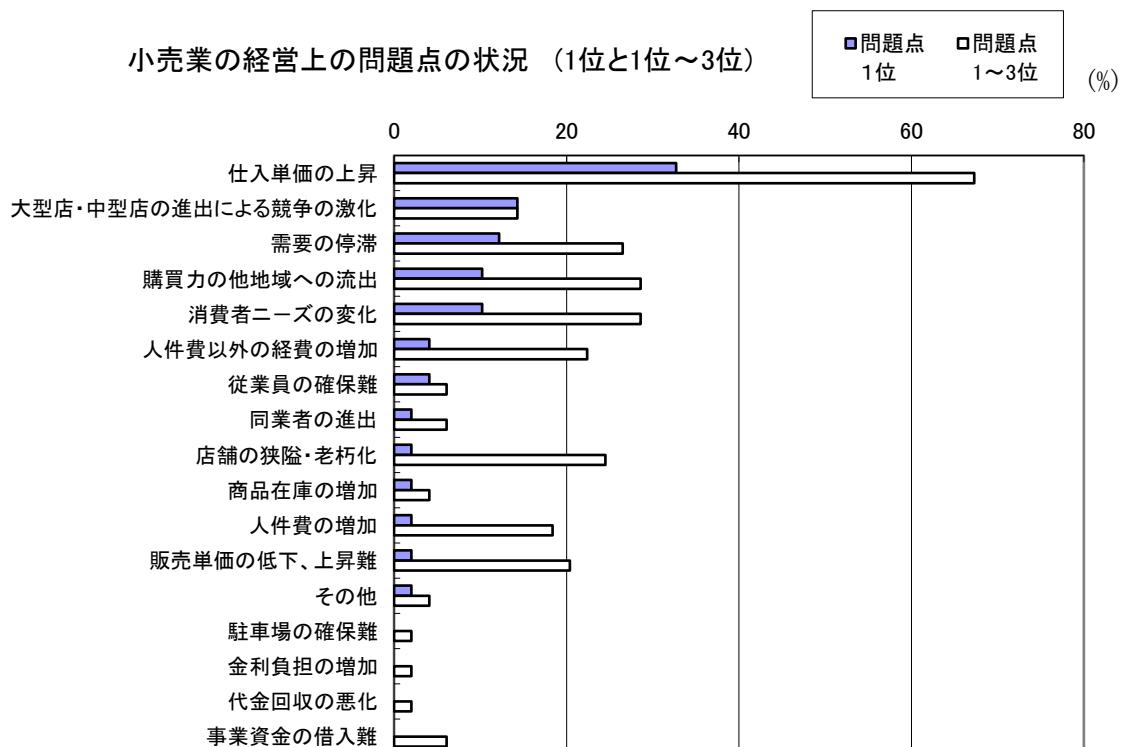
来期に設備投資を計画している企業は14.3%であり、今期計画から9.0ポイント増加、今期実績からは10.7ポイント増加している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「仕入単価の上昇」が32.7%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が14.3%、「需要の停滞」が12.2%、「購買力の他地域への流出」、「消費者ニーズの変化」が10.2%、他は10%未満となっている。

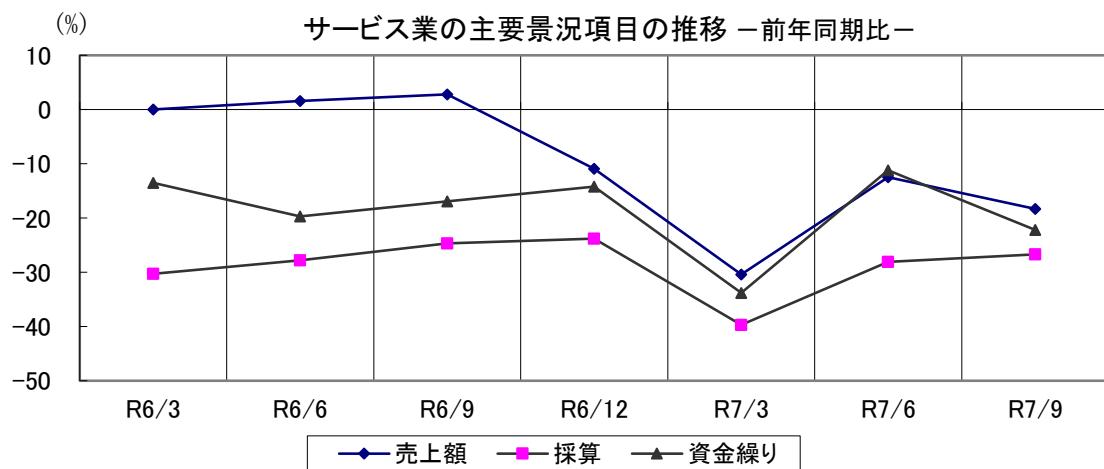
第1位～3位までの合計の問題点は、「仕入単価の上昇」(複数回答以下同じ)が67.3%、「購買力の他地域への流出」、「消費者ニーズの変化」が28.6%、「需要の停滞」が26.5%、「店舗の狭隘・老朽化」が24.5%、「人件費以外の経費の増加」が22.4%、「販売単価の低下、上昇難」が20.4%、「人件費の増加」が18.4%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が14.3%、他は10%未満となっている。



5. サービス業

今期(令和7年4～6月期)の前年同期比DI値は、売上高でマイナス12.5ポイント(17.9ポイント改善の上向き)、採算でマイナス28.1ポイント(11.6ポイント改善の上向き)、資金繰りでマイナス11.2ポイント(22.6ポイント改善の大幅な上向き)と、売上高で好転、採算で好転、資金繰りで大幅な好転となっている。※()内は前期DI値との比較

来期(令和7年7～9月期)見通しの前年同期比DI値は、売上高でマイナス18.3ポイント(5.8ポイント悪化のやや下向き)、採算でマイナス26.7ポイント(1.4ポイント改善のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス22.2ポイント(11.0ポイント悪化の下向き)と、売上高でやや悪化、採算でほぼ現状維持、資金繰りで悪化の見通しとなっている。※()内は今期DI値との比較



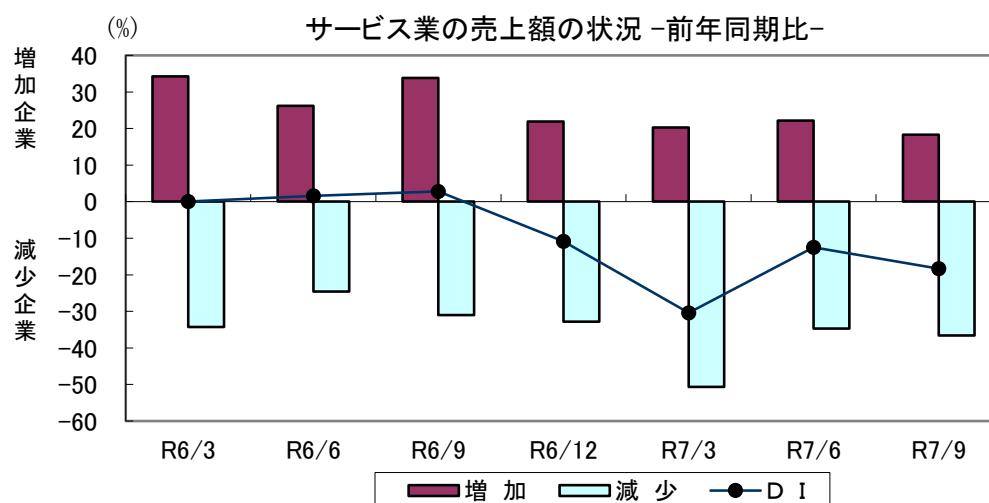
◎売上額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から1.9ポイント増加し、22.2%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から16.0ポイント減少し、34.7%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から17.9ポイント改善し、マイナス12.5ポイントと上向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して5.8ポイント悪化し、マイナス18.3ポイントとやや下向き傾向にあり、「増加」と回答した企業が3.9ポイント減少、「減少」と回答した企業が1.9ポイント増加であることからも、やや悪化の見通しとなっている。

◎サービス業の売上額（前年同期比）

年 / 月	前 期					今 期		見通し
	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	R7/9	
増 加	34.3	26.2	33.8	21.9	20.3	22.2	18.3	
減 少	34.3	24.6	31.0	32.8	50.7	34.7	36.6	
D I	0.0	1.6	2.8	△ 10.9	△ 30.4	△ 12.5	△ 18.3	



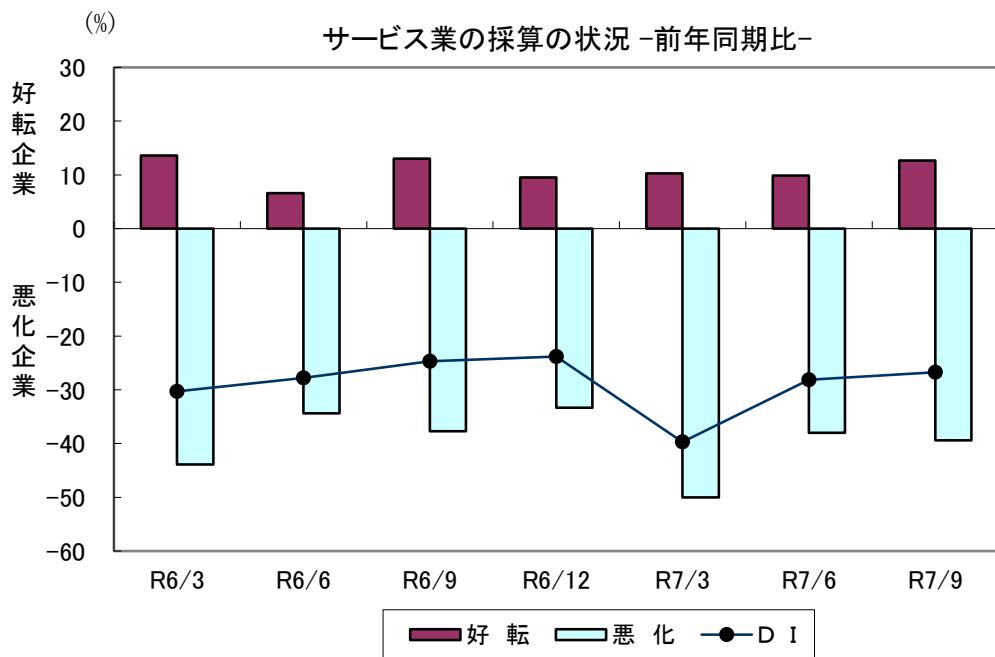
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から0.4ポイント減少し、9.9%となつた。一方「悪化」と回答した企業は前期から12.0ポイント減少し、38.0%となつた。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から11.6ポイント改善し、マイナス28.1ポイントと上向き傾向となつてゐる。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して1.4ポイント改善し、マイナス26.7ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.8ポイント増加、「悪化」と回答した企業が1.4ポイント増加であることからも、ほぼ現状維持の見通しとなつてゐる。

◎サービス業の採算（前年同期比）

年 / 月	前 期				今 期		見通し
	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	
好 転	13.6	6.6	13.0	9.5	10.3	9.9	12.7
悪 化	43.9	34.4	37.7	33.3	50.0	38.0	39.4
D I	△ 30.3	△ 27.8	△ 24.7	△ 23.8	△ 39.7	△ 28.1	△ 26.7



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から2.5ポイント増加し、6.9%となつた。一方「悪化」と回答した企業は前期から20.1ポイント減少し、18.1%となつた。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から22.6ポイント改善し、マイナス11.2ポイントと大幅な上向き傾向となつてゐる。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して11.0ポイント悪化で、マイナス22.2ポイントと下向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が4.1ポイント減少、「悪化」と回答した企業が6.9ポイント増加であることからも、悪化の見通しとなつてゐる。

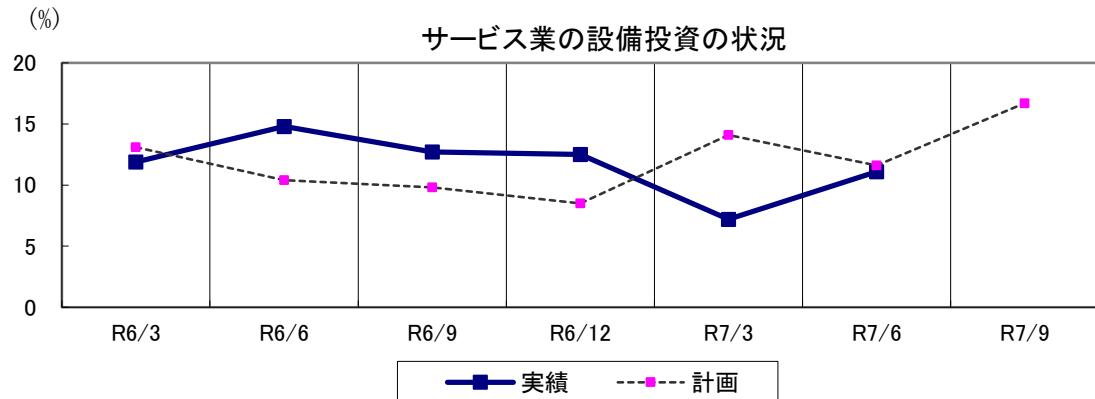
◎サービス業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月	前 期				今 期		見通し
	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	
好 転	10.4	4.9	8.5	4.8	4.4	6.9	2.8
悪 化	23.9	24.6	25.4	19.0	38.2	18.1	25.0
D I	△ 13.5	△ 19.7	△ 16.9	△ 14.2	△ 33.8	△ 11.2	△ 22.2

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から3.9ポイント増加し11.1%となっている。投資内容では「土地」が25.0%、「OA機器」が25.0%、「サービス」が12.5%、「車両・運搬具」が12.5%、「付帯施設」が12.5%、「その他」が12.5%で、他は0%となっている。

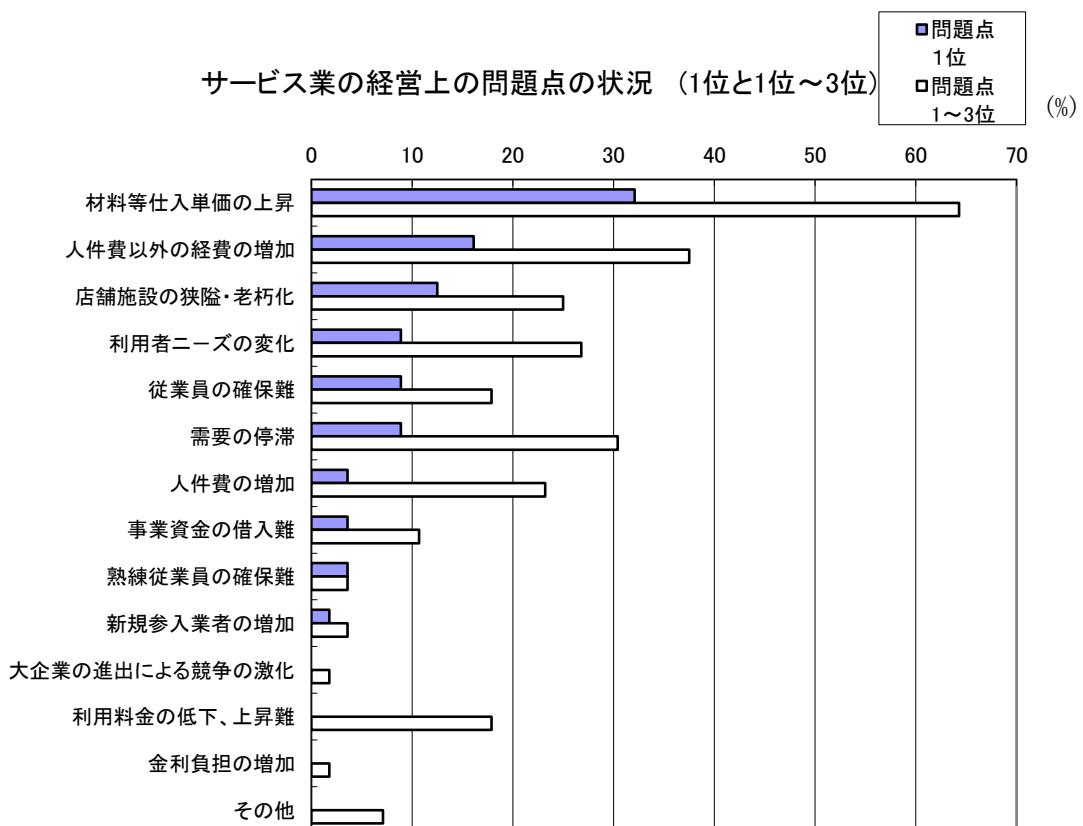
来期に設備投資を計画している企業は16.7%であり、今期計画から5.1ポイント増加、今期実績からは5.6ポイント増加している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「材料等仕入単価の上昇」が32.1%、「人件費以外の経費の増加」が16.1%、「店舗施設の狭隘・老朽化」が12.5%、他は10%未満となっている。

第1位～3位までの合計の問題点は、「材料等仕入単価の上昇」(複数回答以下同じ)が64.3%、「人件費以外の経費の増加」が37.5%、「需要の停滞」が30.4%、「利用者ニーズの変化」が26.8%、「店舗施設の狭隘・老朽化」が25.0%、「人件費の増加」が23.2%、「従業員の確保難」、「利用料金の低下、上昇難」が17.9%、「事業資金の借入難」が10.7%、他は10%未満となっている。



調査対象企業の

(1) 業種別(中分類)企業数

製造業			建設業		
業種	企業数	構成比(%)	業種	企業数	構成比(%)
食料品	12	25.5	総合工事業	23	69.7
飲料・飼料・たばこ	2	4.3	職別工事業	6	18.2
繊維工業	1	2.1	設備工事業	4	12.1
衣服・その他繊維製品	4	8.5			
木材・木製品	3	6.4			
家具・装備品					
パルプ・紙・紙加工品					
印刷・同関連産業	3	6.4			
化学工業					
プラスチック製品	2	4.3			
窯業・土石製品	1	2.1			
鉄鋼業					
金属製品	5	10.6			
一般機械器具	6	12.8			
電気機械器具					
情報通信機械器具					
電子部品					
輸送用機械器具					
精密機械器具	2	4.3			
その他の	6	12.8			
合計	47	100.0	合計	33	100.0

(2) 従業員数別企業数

従業員	製造業		建設業		小売業		サービス業	
	企業数	構成比(%)	企業数	構成比(%)	企業数	構成比(%)	企業数	構成比(%)
0～2人	15	31.9	8	24.2	46	82.1	49	68.1
3～5	8	17.0	11	33.3	10	17.9	14	19.4
6～10	5	10.6	6	18.2			4	5.6
11～20	8	17.0	6	18.2			2	2.8
21～50	6	12.8	2	6.1			3	4.2
51～100	5	10.6						
101～300								
合計	47	100.0	33	100.0	56	100.0	72	100.0

業種別・規模別内訳

小 売 業			サ 一 ビ ス 業		
業 種	企 業 数	構成比 (%)	業 種	企 業 数	構成比 (%)
各 種 商 品	3	5.4	旅 館 ・ そ の 他 の 宿 泊 所	5	6.9
織 物 ・ 衣 服 ・ 身 の 回 り 品	4	7.1	洗 灌 業 ・ 理 美 容 業	20	27.8
飲 食 料 品	25	44.6	一 般 飲 食 店	23	31.9
自 動 車 ・ 自 転 車	1	1.8	運 送 業	1	1.4
家 具 ・ 建 具 ・ じ ゆ う 器	4	7.1	自 動 車 整 備 業	8	11.1
そ の 他	19	33.9	そ の 他	15	20.8
合 計	56	100.0	合 計	72	100.0

福島県商工会連合会および各広域指導センター住所

名 称	郵 便 番 号	住 所	電 話	F A X
福島県商工会連合会	960-8053	福島市三河南町1番20号 (コラッセふくしま9F)	024-525-3411	024-525-3413
中通り広域指導センター	962-0028	須賀川市茶畠町46-105	0248-94-2680	0248-94-2677
会津広域指導センター	969-6195	大沼郡会津美里町字北川原 41 会津美里町役場本郷庁舎3F	0242-93-5607	0242-56-3815
浜通り広域指導センター	970-8026	いわき市平堂根町4の17 いわき中央ビル5F	0246-25-1011	0246-25-1013